

急曲線を含む基幹管路の構築に！ 輻輳した交差点下の経済的な水道管路の構築に！

さや管構築は推進・シールド併用型非開削工法、
本管構築は持込工法・押込工法と二つのハイブリッド工法を用いることで、
急曲線を含む線形でも大幅な工期短縮により、経済的に基幹管路を構築することが可能となりました。

特 長

推進・シールド併用型
非開削工法



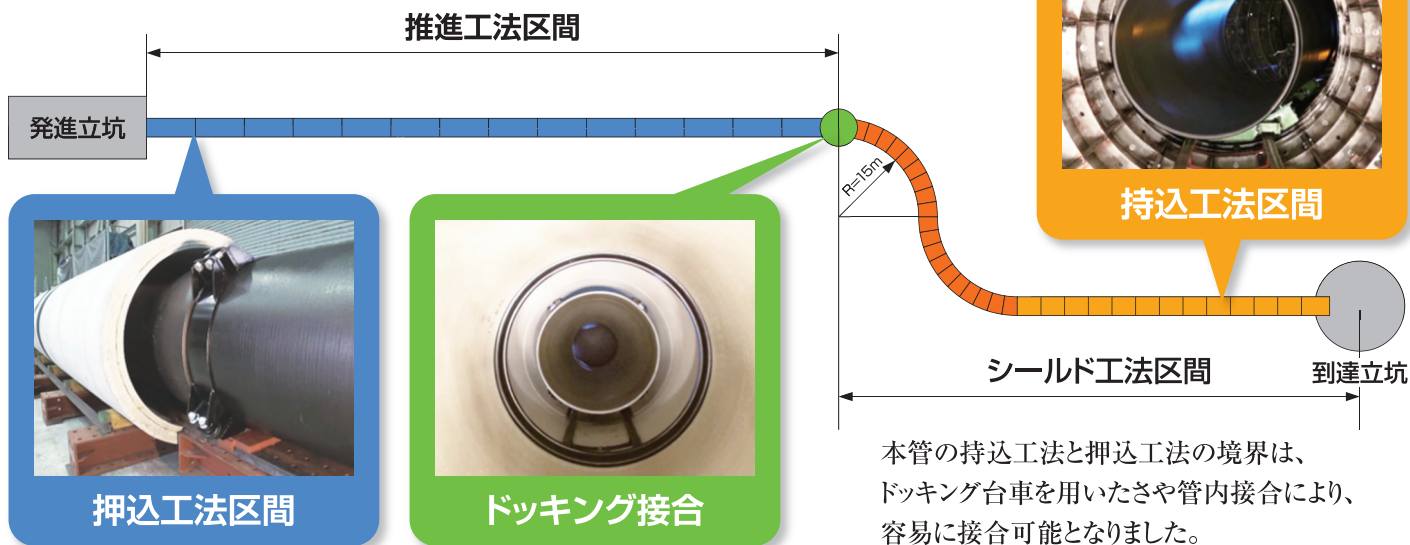
●PN形管持込工法
●PN形管押込工法



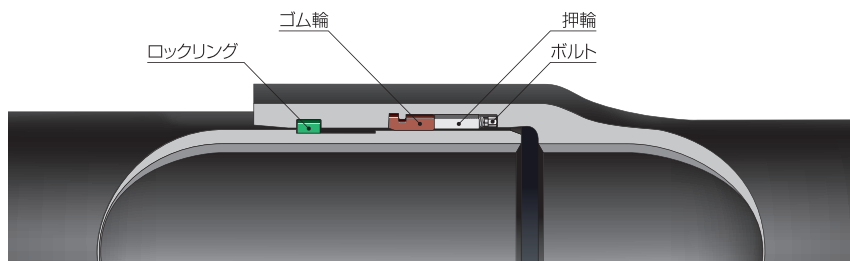
ハイブリッド
システム工法

※PN形 呼び径700は、すべて持込工法となります。

■ハイブリッドシステム工法モデルケース



■PN形ダクトイル鉄管



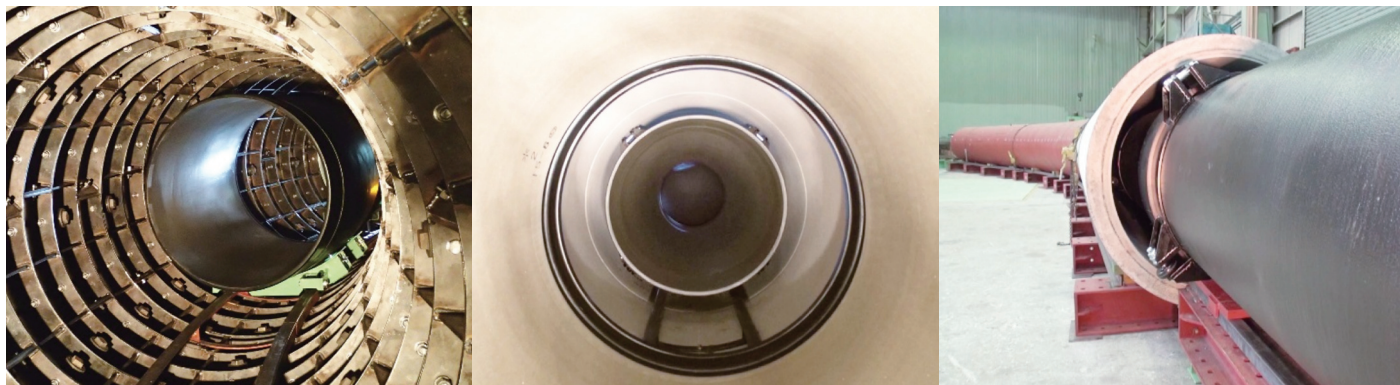
- 管内から接合作業が可能のため、シールド径から3口径小さい本管を布設可能です。
- 曲管を用意していますので、急曲線部での配管が可能です。^{※1}

※1:持込工法用のみ。

	呼び径・有効長
	呼び径: 700～1500 有効長: 4m、6m (乱尺管にも対応可能)
異形管	種 類
	●受挿し短管 ●曲管(11 1/4°、5 5/8°、3°)^{※1} ●継ぎ輪

施工性

シールド径：1100、本管径：800、R=15mの急曲線において、
直管・異形管の通過および接合、ドッキング接合が問題なく容易に行えることを実証実験により確認しました。



工法比較

工 法	ハイブリッドシステム工法 推進・シールド併用工法	シールド工法	推進工法
さや管呼び径	1000～2000	1650～3300	400～1650
本管 呼 び 径	700～1500 (PN形ダクタイル鉄管)	800～2600 (US形ダクタイル鉄管)	300～1500 (PN形ダクタイル鉄管)
標準施工延長	～1500m	1000m以上	最大600m程度
本管布設工法	持込工法 押込工法※2	持込工法	挿入工法
最小曲線半径	15m※3	10m	50～100m
交通への影響	立坑を減らすことが可能なため 交通への影響は最小	立坑を減らすことが可能なため 交通への影響は最小	交差点で立坑を設ける必要があるため、 交通への影響は大
断面図の例			
総合評価※4	◎	△	○

※2：本工法はシールド工法と推進工法のハイブリッド工法のため、シールド内は持込工法、推進工法用ヒューム管内は押込工法を用いることが可能です。 注）PN形 呼び径700は、すべて持込工法

※3：15m以下の曲線半径でも状況によっては可能な場合がありますので、お問い合わせください。

※4：モデルケースの場合。

K 株式会社 栗本鐵工所



パイプシステム事業部

この商品に関するお問い合わせは、
右記までお願い致します。

※記載内容は予告なく変更する場合があります。※無断転載を禁じます。

本 社 〒550-8580 大阪市西区北堀江1丁目12番19号 ☎(06)6538-7641
東京支社 〒108-0075 東京都港区港南2丁目16番2号 ☎(03)3450-8510
北海道支店 〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目3番地 ☎(011)281-3302
東北支店 〒980-0014 仙台市青葉区本町1丁目12番30号 ☎(022)227-1873
名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1丁目17番23号 ☎(052)551-6932
中国支店 〒730-0035 広島市中区本通7番19号 ☎(082)247-4133
九州支店 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番11号 ☎(092)451-6623